

令和3年1-3月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和3年4月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和3年3月10日～令和3年3月31日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは268社で、全体の回収率は53.6%となった。回答企業の平均従業員数は57.6人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		95 社	44 社	46.3%	53.3 人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		59	34	57.6	19.4
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		30	19	63.3	21.7
紙 加 工 品 製 造 業		32	15	46.9	23.3
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		61	44	72.1	37.8
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		223	112	50.2	89.3
	計	500	268	53.6	57.6

6. 要旨











「依然として業況低迷が見られるものの、徐々に回復の見通しへ」

売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和2年1-3月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲36.7となり、前回調査(令和2年10-12月期)の▲50.1から13.4ポイント上昇している。来期見通しにおいては、29.5ポイント上昇し▲7.2となる見通しになっている。

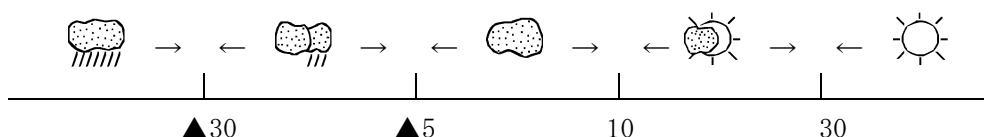
全体の天気図は、5期連続で「雨」となった。しかし、来期見通しにおいては「雨」の状態を脱し、「小雨」模様になる見通しとなっている。

【図表1】

【図表1】

	元年(31年)				2年				3年	来期見通
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	
全体	 ▲19.5	 ▲16.7	 ▲18.5	 ▲27.1	 ▲38.5	 ▲70.4	 ▲62.9	 ▲50.1	 ▲36.7	 ▲7.2

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。

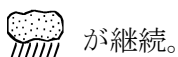


業種別にみると、回復1業種、悪化0業種、横ばい7業種となっている。

回復…「金属・同製品」

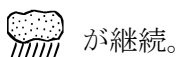


横ばい…「食料品」



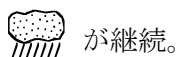
が継続。

「繊維・同製品」



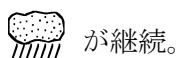
が継続。

「木材・木製品」



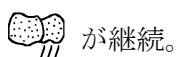
が継続。

「紙・加工品」



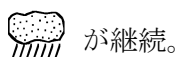
が継続。

「窯業・土石製品」



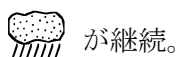
が継続。

「機械・機器」



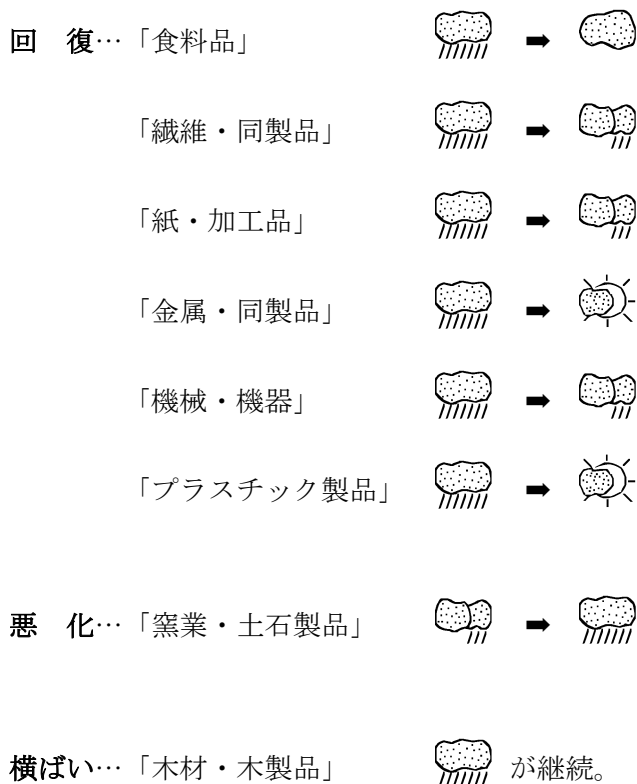
が継続。

「プラスチック製品」



が継続。

来期見通しにおいては、回復6業種、悪化1業種、横ばい1業種となっている。



【図表2】

